

つなまち

No.165 2006.10.19 OCTOBER

自然を思いやる暮らしは
豊かな心かな……。



ECO&ロハス



9月定例会

決まったこと「収入役事務兼掌条例等」……………	③
平成17年度 会計決算認定 ……………	④
一般質問(12名が問う) ……………	⑥
委員会レポート「管外視察」……………	⑫
シリーズ私もひと言 ……………	⑭

発 行：新潟県津南町議会 責任者：議長 高橋 満 男
町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。

SEPTEMBER

9月定例議会

9月定例議会は9月11日に開会し、一般質問を12人が行い、人事案件、条例制定・改正、18年度補正予算、17年度決算の認定等を審議し、原案どおり可決されました。



期待したい企業進出(日本食研)

補正予算

農林水産施設災害復旧費4,652万円を含む総額3億3,900万円が補正されました。

一般会計

補正額1億9,826万2千円（活性化センター解散に伴う経費増及び財産取得、障害者自立支援法、介護保険法改正、地域密着型介護施設交付金増、酒米の生産拡大推進、津南原小の小型ロータリー除雪機更新等）増額し、総額59億5,628万4千円としました。

簡易水道特別会計

中央水道の中深見地区取水ヶ所の修繕改修等で、310万3千円を増額補正し総額1億8,118万8千円としました。

国保特別会計

新たに創出される保険財政共同安定化事業と財調基金等補正額を8,657万8千円とし、総額11億3,510万7千円としました。

介護保険特別会計

介護保険法の改正に伴い、会計内部組み替え、一般会計からの組み替えをし財政調整基金への積み立て、国県支出金精算に伴う償還金等で繰越金5,105万7千円を充て、総額10億8,837万円としました。

収入役退任

9月30日の任期満了に伴い退任いたしました。

「退任のご挨拶」

収入役3期12年間、町民の皆様のご期待に十分お応えできなかったことを、お詫び申し上げますとともに、温かいご支援のおかげで充実して職務にあたることができました。

自律であれ合併であれ当分の間、厳しい状況は続きます。一人一人の自律への自覚がためられる時と思います。



収入役 浦井一雄氏

大口武議員、勤続20年表彰

長年の議員活動の功勞に対し表彰されました。



大口 武 議員

条例改正

制定

国民健康保険条例の一部改正が提案され可決されました

70歳以上で現役並みに所得がある方の一部負担分が2割から3割負担になりました。また、70歳以上で療養病床に入院されている方に対して入院時生活療養費が給付されることになりました。それと特定療養費が保険外併用療養費に名称変更になりました。

津南町収入役事務兼掌条例が提案され可決されました

地方自治法の改正に伴い、平成19年の3月まで収入役を置かずに助役が収入役事務を兼ねる条例制定です。平成19年の4月以降は新たに会計管理者（一般職）を置くことになっています。

意見書

地方交付税の制度堅持と総額確保を求める意見書を全員賛成で提出しました。

（提出先） 衆参議長、総理大臣、総務大臣、財務大臣

集配局の廃止再編計画に反対する意見書を全員賛成で提出しました。

●地域住民の合意と納得を得ないで集配局の廃止再編は行なわないこと。

●離島やへき地、中山間地の郵便局を維持し、現在の集配局機能を存続すること。

（提出先） 衆参議長、総理大臣、総務大臣

公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消をめざし私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書を賛成多数で提出しました。

（提出先） 衆参議長、総理大臣、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣、新潟県知事

道路特定財源に関する意見書について、道路特定財源制度を堅持し、地方の道路整備が遅れることのないよう強く要望し、賛成多数で提出しました。

（提出先） 総理大臣、財務大臣、国土交通大臣

根津紘氏 教育委員に任命

根津紘教育長の教育委員の任期が9月30日で満了となることから、任命の同意が諮られ、賛成多数で同意しました。

滝沢勝枝氏固定資産評価 審査委員会委員に選任

滝沢勝枝氏の委員の任期が9月25日で満了となることから、選任の同意が諮られ、賛成多数で同意しました。



地方の道路整備促進を!!

陳情・意見書

【老保会計】

歳入 17億4、363万円
 歳出 17億3、300万円
 差引額 1、063万円
 月平均受給者数は、2、847人で前年に続き132人の減少でありました。

【国保会計】

歳入 11億2、085万円
 歳出 10億1、655万円
 差引額 1億430万円
 国保で医療を受けた人は、5、572人で前年より145人の減少でありました。老人保健への拠出金は2億3、380万円の前年比8・1%増で1、757万円の負担増となりました。

特別会計



8月、9月と災害の多い年であった



豪雪による屋根倒壊

【簡易水道会計】

歳入 3億3、055万円
 歳出 3億1、533万円
 差引額 1、522万円
 龍ヶ窪水道整備及び水道本管布設替工事4地区の工事請負費は1億9、070万円でありました。

【農排水会計】

歳出 2億5、682万円
 歳出 2億4、842万円
 差引額 840万円
 寺石地区排水施設工事等1、023万円農排水施設台帳作成に59万円でありました。

【介護保険会計】

歳入 9億5、461万円
 歳出 8億9、155万円
 差引額 6、306万円
 受給者数506人で前年比4・0%21人の減でありました。

【下水道会計】

歳入 7億7、458万円
 歳出 7億4、357万円
 差引額 3、101万円
 朴ノ木坂、米原、秋成の管渠整備工事請負費は、4億3、551万円でありました。



町制施行50周年記念事業 黒川能上演

一般会計

三位一体改革による
国県の補助金等歳入減

本会議に平成17年度一般会計、特別会計決算が一括上程され、決算総額歳入111億4,947万円（前年比2.1%減）、歳出106億9,741万円（同3.2%減）となり、収支差し引き残高4億5,206万円（同35.8%増）となりました。

一般会計は、歳入59億6,840万円（前年比1.4%減）歳出57億4,898万円（同2.2%減）となり、歳入で前年比増は、財産収入（2,540万円）地方譲与税（2,129万円）地方交付税（2億241万円）等であり、前年比減は繰入金（4,947万円）町債（1億5,380万円）等でした。経常収支比率は79.1%（80%以内）と県内で良い方から4番目であり、厳しい財政状況下ではありますが、健全財政の基幹は保持されていると認め、全員賛成で認定いたしました。

17年度の成果（一般会計・全員賛成）

- 町制施行50周年記念事業……………500万円
- 要援護世帯除雪事業委託料 168世帯……………356万円
- 人工透析者通院費補助金 延べ199人……………99万円
- 中山間地域等直接支払交付金 782戸……………9,290万円
- 苗場山麓総合農地開発事業償還負担金……………7,869万円
- 複式学級指導委託料 3小学校……………484万円

平成17年度決算7会計を認定!!

農地・水・環境保全向上対策の進め方

町長：問題点を整理し説明会を開催したい

●河田 強 一 議員

本対策をどのように取り組んで行くのか

問 この事業は農業、農村環境を地域ぐるみで保全する活動を後押しする対策であり、高齢化が進むなか、期待される対策である。町はどのような対応していくのか。

町長 近年高齢化が進み、農道等の維持管理が難しくなってきた。農地・水・環境保全向上対策の実施は、農業環境、国土保全、環境維持に大きな効果を期待している。まだ未確定な部分や問題点もあり、整理した上で10月中旬以降に集落代表者の説明会を開催したいと考えている。

宮野原郵便局の集配業務廃止の阻止を

問 宮野原郵便局の集配業務等が3月廃止の予定となっている。住民サービスの後退であり、なんとかしてでも阻止しなければならぬ。

町長 宮野原郵便局が担当する集配業務、貯金保険の集金業務を大割野郵便局で担当する予定だと話があった。本町は反対であると明言をした。私は国の地方切り捨てだと強い憤りを感じている。郵便局は3事業が一体となって、それが保たれる。そのことをぜひご理解をいただきたいと申し上げた。



集配業務の継続を願う郵便局

県の事務権限移譲は

町長：積極的に受け入れたい

●津端 真 一 議員

事務権限移譲の受け入れは

問 知事は意欲ある市町村に手あげ方式にて事務権限を移譲する考えを示している。当町にどのような打診があったか。また、検討されているか。

町長 本年3月に策定された事務権限移譲について、住民の利便性向上等ふまえ、積極的に受け入れたい。来春バスポート発行については受け入れることとし、準備のため処理機械導入のため、12月議会にて補正をお願いしたい。

大倉バイパス工事が進まない

問 大倉バイパス工事がなかなか進まない。もう少し何とかならないか。

町長 私が町長になったときからの課題であり、河川敷運動公園とのからみもあり、国県に強力に要望していく。

収入役の処遇と教育長の非常勤化は

問 収入役の廃止、教育長の非常勤化など、とんでもない発想だ。

町長 収入役は、9月30日で任期を迎える。両役職には、強力に支えていただいた。4月から、会計管理者を置く。教育長は非常勤としない。

行政組織はどう変わるか

問 平成19年度から自治法の一部改正により、助役及び収入役制度の見直しがある。新年度以降の行政組織への影響は。

町長 助役は副町長となり、収入役は廃止し会計管理者を置く。職務は収入役と同一であるが、特別職ではない。行政組織上は会計管理者の下に補助職員を配置し、事務を行う。新年度は非常勤の顧問、参与を置くことも検討したい。

子育て支援の更なる充実を

問 病後児保育の必要性については、17年4月策定された「津南町次世代支援対策行動計画」の二ーズ調査でも80%の人が望んでいる。津南病院で病後児保育室開設を進める考えはないか。



子どもとお母さんのふれあいの場

●藤ノ木 富有 議員

収入役廃止は支障がないか不安

町長：新年度から課長級の会計管理者を置く

町長 病院長と協議をし、開設できるものであれば、そのような方向で検討したい。

問 間口の広い一時保育事業の積極的な取り組みを。

町長 保護者からの要望も多い。職員が確保されることが前提であるが、実施する保育園、利用方法、料金の関係等条件整備をしながら、来年度実施に向け取り組んでいる。



早期完成が望まれる大倉トンネル

少子高齢化対策こそ町活性化の源

町長：我が国、最重要課題である

●大平 謙 一 議員

女性の働く場の確保が結婚支援に繋がる

問 ①若い学卒者が津南で働ける職場の確保。②結婚支援策は。③町の子育て支援策はどうなっている。

町長 ①国の景気回復は地域によってバラツキがあり、地方はまだ厳しい状況にある。本町への進出企業は特殊な技術や製品を有することもあり、好調と聞いている。女性の働く場としては社会福祉法人、介護福祉施設なども新設され、雇用の拡大も期待される。企業は津南の優秀な人材の応募を望んでいる。農業問題は来年より国の政策が変わるが、津南産農畜産物は評価も高く、大規模農家の経営も良好と考

えている。②結婚支援はなかなか難しい問題であるが、男女の出会いの場づくりに結婚相談員の協力を得ながらミニパーティーを年3回開催したり、心の準備講座の開催、地



子育て支援センターで遊ぶ子どもたち

PFI事業の推進を

町長：可能性を模索している

●吉野 徹 議員

リスクの明確化と
分担は

問 町が模索している民間主導のPFI事業は住民に対しより効率で効果的な公共サービスを提供できると考えられる。事業導入の意向のなかでのリスクの明確化と分担について伺う。

町長 リスク負担も含めて民間事業者による効果を期待するが、必要に応じリスク分担を明確にできると考える。

町づくり計画のなかで町営住宅の建て替えを検討しており、PFI方式がコストの削減や良質のサービスを実現できるか手法の一つとして、今後可能性を模索したい。



PFI事業が検討されている町営住宅

農産物の視野拡大を

問 日本食研の町への進出に大きな期待が込められている。農業生産者、食品製造者、また、遊休農地対策等含めたなかで町との連携について伺う。

町長 町内全域を考えたなかで、津南の素材を使つての製品開発や農産物などあらゆる物産を視野に入れ、全国への販売展開を進めている。農地の流動化問題や地場産業の進展など多くの課題があるが積極的に進める。

押し付け「地方分権」を

町長：自治体の責務を守る

●大口 武 議員

弱肉強食の社会が
強まるおそれ

問 「行革推進法」「市場化テスト法」さらに「骨太方針2006」「地方分権21世紀ビジョン」と総務省の「地方税財政改革について」などこれら一連の法律や方針は、住民の暮らしや地方公共団体に深く関わるとともに、これまでの「ムダ」を省くとする単なる「行革」とは質が異なるものである。

これらは人脈からも行政的にもリンクし、一体的に進められ、目指すところは「官から民へ」を基本理念とした「競争原理」のさらなる導入でその結果は、社会保障の切り下げ、増税、地方財政の縮小で、格差の拡大、弱肉強食の社会が強まるのではないかと。

自治体の公共サービスの目的は、住民の暮らし、命と安全を守ることそのための施策制度をいかに改善、充実するかが行政改革の基本的理念であると考えます。

市場化テスト法による公共サービスの民間開放は考えていない。

公共サービスのさらなる充実こそ重要



高速通信網サービスの推進策は

町長：弱者の機器導入に際して補助も検討

●大島 知美 議員

将来の利用方法は

問 3月28日から利用できる高速通信サービスの進捗状況（利用地域大割野、正面一部）と将来どのような利用を考えているのか。

備促進協議会（町長会長）の充実を図り、まず加入推進に努め、合わせて啓蒙活動も展開していく。設備について、各宅内まではNTTが行う。弱者における機器等の設置については、支援、補助等の検討を行う。

町長 NTTのBフレットの加入状況は一般家庭、企業より900を超える申込みがあった。これは全世帯の4軒に1軒が申し込んだ数である。町民の方々の期待も大きい。活用法としてはテレビ電話を利用した福祉医療サービス、町ホームページの更新をして高齢者、障害者をもった方に配慮したサイトの構築、相互方向通信（顔が見える）を利用した医療問診等、町民の利便性を重視した活用をめざす。



健政発第1075号(H9.12.24)ならびに医薬企第90号(H10.12.25)に基づき実施

テレビ電話を使って自宅に居ながら主治医の診察を受けることが可能となります。

子供110番標識を見易いものに

教育長：安全安心して登下校できる環境を

●樋口 松雄 議員

110番の家があるか周知、徹底を

問 子どもに関わる恐ろしい事件、事故が多発し、後を絶たない。子ども110番のプレートが見えにくく小さいが、夜でも見えるようにできないか。

教育長 近年事件が多く発生しており、平成9年に町内112ヶ所に警察で設置したもの。見やすいよう要望したい。また、ながらパトロールも充実させ、安全に登校できる環境に努める。

町の補助金、負担金等の適正化を



ガソリンスタンドも子ども110番の家に

問 地域振興に団体、グループに活動支援し、活動に中と厚みを増やしている。財政難の時、その運用内容と、新たな展開が必要ではないか。

町長 団体、グループの活発で自主的な活動に敬意を表する。今後内容を確認しスクラップ&ビルドの考えで進む。

文化財で町の活性化を

問 出土した文化財を町内に展示し、町の活性化に繋げたら。

教育長 文化財による町づくり人づくりは重要な指摘である。文化財は地域の宝であり、教育資源、観光資源の二面性を持っている。保護と活用は官民あげて、総合的、継続的にすすめる必要がある。

地域包括支援センターは町直営で

町長：直営が好ましいと考えている

●藤ノ木浩子議員

自治体の役割が重要

問 創設される地域包括支援センターは、地域の高齢者の生活を総合的に支えていく拠点として位置づけられている。現状では、ケアマネジャーがケアプランはもちろんのこと、高齢者の生活相談も求められている。町は町民の健康づくり事業でも、県下トップ評価となり、その仕事をセンターが担うとなれば、町が直営で行うべきではないか。

ずサービス利用を中止する事態になりかねない。負担軽減策を検討願いたい。

町長 負担の公平性と制度改正を勘案し、新サービスに移行する前までに結論を出したい。

問 役場前の公衆トイレに障害者用トイレの設置を。

町長 現在の公衆トイレにはスペース的に困難だが、計画的に取り組む必要がある。

町長 直営で行うことにより保健、医療、福祉の連携がより容易ではないかということで、直営で行う方向で検討している。

障害者の自立を支える制度に

問 通所施設すみれ工房では工賃収入を上回る利用料負担が発生する。負担に耐えられ



健骨体操で元気はつらつの高齢者

商工業の振興策を

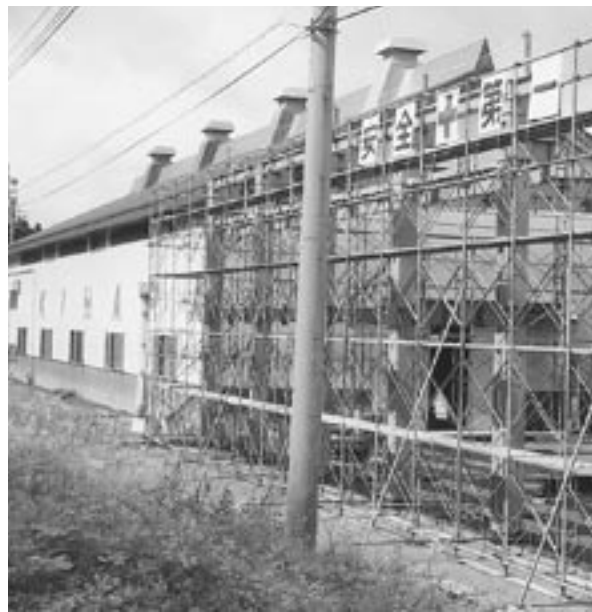
町長：ひまわり畑、芸術祭は経済効果あり

●伊林 康男議員

企業立地課、同プロジェクト班の設置は

問 町づくり報告書では、地場産業を興し、起業家の育成、企業誘致や特産開発等を示している。これに関しては極めて重要なことで、過去に多く議論されてきたものの、これらへの具体策や実質的な取り組みがなされていない。専門的、積極的に取り組み、産業創造を促進する「企業立地課」また、同プロジェクトを創設したらどうか。

町長 進出企業による工場拡張、新規営業所の開設、農産物を扱う企業の好調さ等地域経済、雇用の面に期待が持たれている。また、ニューグリー



企業増設に雇用の期待

官公需の町内受発注の履行を

問 官公需の町内受発注の履行は、当該地域経済への波及効果が著しく大きい。町長はどのように考え、対応されているか。

町長 津南の産業は一つを基本としていきたい。町内業者優先は今までもその通りやってきた。今後においてもそのように考えている。

社説、町政2ヶ月明と暗

町長：政治判断でもある

●五十嵐 英教議員

県道改良、農薬埋設処理と今後の見通し

問 豊船橋、卯ノ木間の農薬埋設処理は、良い方向に進んでいることに感謝を申し上げる。引き続き努力を願う。

地権者と、今後の見通しはどうか。

町長 県道改良であるが、30年前前に国が地下埋設をなさいたということで、農協が指導に基づいてあの場所に埋設をした。昨今は産業廃棄物として処理をしないという通達であり、1,000万近い費用で8月にその処理を完了することができた。

何故はずしたのか

地権者との話は個人情報で話せない。県の担当者と町で現在も努力を行っている。

問 津南新聞社の社説に書かれていた、10年来指名を受けてきた業者をはずしたのは、選挙の結果であろうと考えるが、町長はいかがか。

町長 この件に関しては、私は取材も受けていない。新聞は私の考えでもないところも書いている。

これは政治判断でもある。現在、災害関連での仕事をし



農薬の埋設処理を行なう業者

町建設工事等発注について

町長：業界指導は今後検討

●高橋 孝男議員

町発注建設工事等は公正に

問 1年間に44回指名を受けながら1回も受注なしの会社が2社、また11回の指名を受けて、受注なしが2社あった。さらに「入札参加指名願」が受理されているのに、指名実績ゼロの会社が1社あり、改善が必要。先般の入札（測量委託）で津南の会社を除外した理由について、また、町長が改めること、業界指導が必要ではないか。

町長 業界指導はご意見として受けておく。後段の除外したことについても承っておく。

豪雪対策は万全か また、対策の内容は

問 緊急除雪対象者や、その他の把握はできているのか。また、近年は地域防災力が高齢化に伴い弱まっている。その対策はできているのか。



今年度完了に向け進められている下水道工事

町長 緊急除雪対象者や建物の把握は、町単事業で行なっている。10月に民生委員に依頼し、民生委員は旧村単位に、11月に要援護世帯をまとめ、認定と対象外世帯を決定している。

産業建設常任委員会

資源有効利用の視察

●委員長 吉野 徹

7月24日、25日の両日、産業建設委員会は阿賀町の㈱アグリパワー揚川処理施設、福島県下郷町の大内宿、郡山市富久山清掃センターの視察を行いました。

木質ペレット製造施設

揚川処理施設は、東北電力のベンチャー企業第1号として設立され、ダムに漂着する河川の塵芥を分別し、草葉類は堆肥に、流木類はオガコや木質ペレット等製造し、環境美化や再利用に取り組んでいる施設です。また、間伐材の利用も試みていました。大河信濃川と広大な森林をもつ我が町にとって関係の深い事業であります。

観光に生きる大内宿

大内宿は、昭和56年に国の重要伝統的建造物群保存地区に指定された、江戸時代の茅葺屋根の民家が建ち並ぶ宿場通りで年間80万人、100万人の観光客が訪れています。表通りは、昔ながらの建物の中で、みやげ物の販売や、食堂を営み、裏通りに居住部分を配し、生活を営みながら大内宿を守っている観光地でした。宿場の入口に保存優先の原則が記された大きな住民憲章の看板が印象的でした。



江戸時代にタイムスリップの大内宿



木質ペレット製造施設

焼却に伴う熱エネルギー利用の大規模清掃センター

最後の視察先である富久山清掃センターは、高効率のごみ焼却施設自動システムを取り入れた、日量300トの焼却処理施設と80トの不燃粗大ごみ処理施設を機能的に配置した最新鋭の設備を備えていました。廃棄物の中から積極的に資源を回収し、再生、処理再利用を図り、また、発生した熱エネルギーを利用した自家発電による充電や余熱の供給を行うなど省資源化に努め効率的な運営を行っています。



大規模清掃センター

総文福祉常任委員会

自立に向けて英断の田上町

●委員長 草津 進

「自立したまちづくり」を進める田上町と、柏崎市における「学校2学期制」の取り組みについて総文福祉常任委員会で視察研修してきました。

自立したまちづくり、第一歩は、財政の健全化

田上町は三条市、栄町、下田村との合併を検討してきましたが、平成15年11月の「市町村合併に関する住民意向調査」の結果「合併に反対」が61%、「合併に賛成」が23%でした。町民の意向を重く受け止め、十分に尊重し、自立したまちづくりを進めることに決定したということでした。立ち足る大きな壁に、たいへん厳しい財政運営があります。この問題に対処するために、職員による「財政健全化検討委員会」を設置し、健全化に向けた対応がなされていきました。町財政が危機的状態であることを町民の皆様

知らせ、協力を願うものでした。財源不足は人件費の削減、未利用土地の売却、固定資産税率の引き上げ、各種利用料の値上げ、検診負担金の増額、ゴミ処理の有料化、保育料の値上げなど多くの町民負担を求めるものでした。今後の検討課題として、人件費の削減、給食センターの民営化、保育所の統廃合、民営化、幼稚園の民営化など多くの対応策を実施する住民説明会を開催することとした。

自立推進プログラムは、ローリング方式で毎年見直し、必要な改革の推進に努めるということでした。

平成17年度から市内全小中学校で2学期制実施

柏崎市における「学校2学期制」の取り組みは、平成13年10月から実施した仙台市を視察してからはじまりました。平成15年7月から実施検討委

員会を立ち上げ、2年間かけて検討されました。

メンバーは、推進校代表3名、小学校代表4名、市PTA連合会代表4名、地域コミュニティ及び公民館代表2名、教育委員会事務局3名です。賛否の両意見が寄せられるなかで完全実施となりました。



柏崎翔洋中等教育学校総合学習(茶道)

今後の課題も多くあるようでしたが、導入によって職員の事務的な成績処理や通知表などが減少し、長期休業前から支援学習会を実施し、基本が身に付かなかった生徒への学習支援ができたこととでした。津南町も実施に向け早い対応を望むものです。

産業建設常任委員会
総文福祉常任委員会

委員会レポート





シリーズ・町民の声 私もひと言



「防犯に」

大井 平 河田 清一さん

黄金の波音が聞こえる。コンバインが競い合うように走り回る。汗する人々の顔がまぶしい。農家にとって最高の時だろう。

こんなすばらしい季節。だが、毎日報道されるすさまじい事件、事故、身近にもある出来事。

防犯協会の役を引き受けて2年。最初のうちは自分自身への啓蒙と思っていたが、最近役の重要性改めて問う。

心のふれあいを求めて生きてきたが、地域の子どもたちに、人間関係の基本と言われるあいさつ

も考えてしなければならない。雨が降っていても、車に乗せることができない、今日この頃。

自然体で接しられない、さみしさ。

朝の「あいさつ」。ありがとうの心と言葉は伝えたい。

防犯パトロールのステッカーを付けた車で気配りをし、精一杯の豊かな心を持つよう努力し、温かな気持ちで見守り、防犯に対する意識を高めて行きたい。



「最近思うこと」

中 子 半戸 雅代さん

私は今育児休暇制度を利用して子育てをしています。育児休暇が取れることは恵まれていることですが、育児をしていると1年でも足りないように思える時もあります。仕事をしている以上は、復職をしてまた頑張りたいと思っています。今は生後8ヶ月から保育園へお願いすることができ、働く者にとってもありがたいです。(受け入れてく

れる保育園の方々は大変だと思いますが)これから出産や育児を始める人、仕事をしようと思っている人にも安心して育てる、育てやすい環境が広がっていったらいいなと思っています。家のなかでも地域でも、子どもがいると明るくなって楽しいですね。



みんな元気に「ソーレ・ソーレ」

9月定例会には一般会計、特別会計決算が報告され、認定されました。今後とも健全財政の堅持に向け努力を続けていたできたと思います。また、町が関連している各種の会社、各種団体等の決算も報告されましたが、いずれも良い結果とはいえず、今後一層の努力をお願いし、町民の皆様もご協力、ご利用をお願いするところであります。

(強)

収穫の秋を迎え、町内各地で稲刈りが行われていました。昨年は大雨、台風そして雹害など、様々な被害を被りましたが、本年は幸いにも大きな被害に遭わず、順調に推移したものと思われま

編集
後
記